

玄武岩の玄さんが堅いテーマも柔らかに解説

豊岡のこころに注目じゃ！16



豊岡アートシーズン2016って？

玄さん、「豊岡アートシーズン2016」って何？

7月22日から11月29日まで、市内の文化施設などで、全部で34のプログラムを開催する企画じゃよ。演劇やダンス、クラシックコンサート、展覧会など、盛りだくさんじゃー！ いわば「アートのお祭り」じゃな。

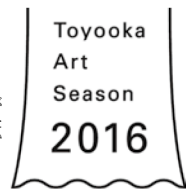
例えば、どんなプログラムがあるの？

ちょうど7月22日にキットオファイイベントの「とおおかアート縁日」が開催されたとこりじや。豊岡アートシーズン2016の関連アーティストの皆さんや高校生のステージは華やかじゃったわい。豊岡にはどんな文化施設やアートのイベントがあるか紹介する「豊岡のアートを楽しむ」ブースもあつてのお。

今後、豊岡市民プラザでは、劇作家の内藤裕敬さん作・演出の『あらし』公演があるぞ。

これは、関西で活躍中の俳優たちと市民演劇のコラボレーションによる作品じや。城崎国際アートセンター(KIAC)では、ロラン・コロンさん作・演出のボイスパフォーマンス『キノサキノマトペ』などを公演予定じゃ。出石永楽館では、おなじみの歌舞伎や、てがみ座の演劇『燦々』公演もあるぞ。11月には、市内各所でクラシックコンサートを行う「おんぶの祭典」もあるしな。他のお勧めは、施設の職員さんに聞いてみんせえ。

このロゴマークには、どんな意味があるの？



▲ロゴマーク

これは、舞台の「幕」をイメージした。豊岡市には舞台芸術の施設がようけあ

って、それぞれに魅力的な公演をしとるんじや。市民会館、豊岡市民プラザ、KIAC、出石永楽館などじゃな。見どころが違って、奥が深いぞ。それに、博物館・美術館も充実しとる。豊岡アートシーズン2016のプログラムを通して、豊岡の文化的な魅力(ちから)を(再)発見してもらいたいのお。

私も、友だちと何か観に行きたいな。今年の夏・秋は豊岡でいろいろなアートに出会おう季節だね！



▲2016年内藤裕敬作・演出「豊岡駅前小鳥店Ⅲ」